



Bosch、NVIDIA との AI 自動運転コンピューター開発を発表

NVIDIA と Bosch、次世代 DRIVE PX Xavier プラットフォームを
ベースにしたシステムで協力

ドイツ、ベルリン -- (2017 年 3 月 15 日) - Bosch Connected World - 世界最大の自動車部品メーカーである Bosch は本日、量産車向け人工知能自動運転システムの開発に向けて、NVIDIA (NASDAQ: [NVDA](#)) と協業することを発表しました。

Bosch CEO の Folkmar Denner (Volkmar Denner) 博士は、ベルリンで開催中の Bosch Group の年次 IoT カンファレンス「Bosch Connected World」の基調講演で、今回の協業について明らかにしました。

NVIDIA と Bosch は、NVIDIA のディープラーニング ソフトウェアおよびハードウェアをベースにして、複雑な運転に関するトレーニング、自律走行、および無線ネットワークでの機能更新を可能にする AI 自動運転車コンピューターを開発します。

NVIDIA 創設者 兼 CEO の Jen-Hsun Huang (Jen-Hsun Huang) は、次のように述べています。「自動運転車は、ディープラーニングと人工知能に関する最近のブレークスルーによって最終的に解決可能な課題です。Bosch は、DRIVE PX AI カー コンピューターを使用して、自律走行車の量産に向けた車載グレードのシステムの開発を進めます。両社が力を合わせることで、自律走行車によってモビリティが安全になるとともに、すべての人々の手に届くようになる未来を実現します。」

「自動運転によって道路の安全性が高まります。人工知能はその実現の鍵を握ります。私たちは自動車を賢くしたいと考えています」と Denner 氏は述べています。

Bosch の AI カー コンピューター システムは、次期 AI カー スーパーチップであり、レベル 4 の自律走行実現に向けてデザインされた世界最初のシングルチップ プロセッサである Xavier を搭載した次世代 [NVIDIA DRIVE™ PX テクノロジー](#) をベースにする予定です。自動運転車が実行しなければならないタスクに必要な大量の計算を処理するには、Xavier のかつてないレベルの性能が必要です。それらのタスクには、自車の運転状態や安全な進路の計算だけでなく、周辺環境を検知するためのデ

ープ ニューラルネットの実行、3D 環境の認識、HD マップ上での自己位置特定、他の物体の挙動および位置の予測も含まれます。

本件に関するお問い合わせ先:

エヌビディア エンタープライズマーケティング本部 広報
吉川香葉子 Email アドレス : kyoshikawa@nvidia.com
Tel : 03-6743-8712 Fax : 03-6743-8799

エヌビディア広報事務局
株式会社イニシャル 中村/南部/秋山
Email アドレス : nvidia@vectorinc.co.jp
Tel : 03-5572-6073 Fax : 03-5572-6065

NVIDIA についての最新情報:

公式ブログ [NVIDIA blog](#)、[Facebook](#)、[Google+](#)、[Twitter](#)、[LinkedIn](#)、[Instagram](#)、NVIDIA に関する動画 [YouTube](#)、画像 [Flickr](#)。

NVIDIA について

NVIDIA が 1999 年に開発した GPU は、PC ゲーム市場の成長に拍車をかけ、現代のコンピューターグラフィックスを再定義し、並列コンピューティングを一変させました。最近では、GPU ディープラーニングが最新の AI、つまりコンピューティングの新時代の火付け役となり、世界を認知して理解できるコンピューター、ロボット、自動運転車の脳の役割を GPU が果たすまでになりました。今日、NVIDIA は「AI コンピューティングカンパニー」として知名度を上げています。詳しい情報は、<http://www.nvidia.co.jp/> をご覧ください。